

事業所名 新座市児童発達支援センター（アシタエール）

支援プログラム

作成日 令和7年2月1日

支援方針		・乳児は、「大人と一緒にやってみることを大切にしています。幼児は「自分でやってみたい、自分でやりたい気持ち」を大事にします。 ・基本的生活習慣の自立を促します。 ・対人関係の基礎作り（人と安心してやりとりする力）の獲得を目指します。 ・身体をたくさん動かすことの楽しさを伝えていきます。		
営業時間		8時30分～17時00分	送迎実施の有無	あり（単独通所時と必要な方）
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	◎お子さんの特性を保護者の方と考えながら、基本的生活習慣（着脱・排せつ・食事など）の獲得に向けて取り組んでいきます。 ・家庭と連携し、生活リズムが整うよう支援します。 ・必要に応じて姿勢保持用具を使用していきます。 ・アレルギーや服薬、発作、病状など看護師と聞き取り、支援していきます。		
	運動・感覚	◎遊びの中で身体と手指を動かす楽しさを伝えていきます。 ・戸外遊び（遊具あそび、庭あそび）や室内遊び（ボールプール、巧技台遊び、感覚遊具）身体や手指をたくさん動かします。 ・個々に合わせた移動手段ができるよう用具などを使っていきます。 ・感覚の特性（感覚の過敏、鈍麻）を踏まえ、環境調整等を支援します。		
	認知・行動	◎散歩・製作・音楽遊びなどを通し、ルールや物への理解へとつなげていきます。 ・本人の興味関心に合わせた活動に取り組みます。 ・行動上の特性を理解し、本人が分かりやすい環境設定をしていきます。		
	言語 コミュニケーション	◎ジェスチャーや絵カード、言葉などを使用しながらやりとりする中で、気持ちを伝えようとする力を育みます。 ・表情やしぐさなどから気持ちや思いをくみとり、代弁し伝えていきます。 ・歌、手遊びなどをとおし、音声模倣、発声、発語につながる取り組みをしていきます。 ・名詞・動詞などの言葉の使い方や、コミュニケーションの方法を大人が見本を提示しながら、支援します。		
	人間関係 社会性	◎保護者の方や身近な大人と好きな遊びを見つけ、安心して過ごせる環境作りをしていきます。 ・人との関りの中で、「あそびたい」「伝えたい」気持ちを育みます。 ・一人あそび、平行遊び、協同遊び、集団遊びなど遊びの発達段階をおさえて遊びを展開していきます。		
家族支援		・親子通所時に保護者の方にも参加してもらい、職員の支援方法をみていただいたり、相談を受けます。 ・家庭訪問を実施し、家庭での困りごとを共に考えていきます。 ・個人面談を実施します。（年2回児童発達支援計画の開示、その他必要時） ・懇談会（クラス、全体、就学について）を実施し、他の保護者と交流する機会を設けます。 ・保護者対象の歯科、言語、心理の講演会を行います。 ・家族参加行事（夏まつり、運動会）、療育参観（年1回）	移行支援	・併用利用先と定期的に連絡を取り合います。 ・必要に応じて保育所等訪問支援を実施し、本人への支援や保育園や幼稚園の困りごとに対応しながら、移行先や併用先を支援します。 ・保護者の希望に応じて、移行先への情報提供や相談に対応します。（幼稚園、保育園、小学校、放課後等デイサービス等）
地域支援・地域連携		・子どもに関わる地域の関係者、関係機関と連携していきます。（保健センター・家庭児童相談室・教育相談センター・医療機関） ・相談支援事業所との生活支援や発達支援について連携をしていきます。 ・幼児クラスは公立保育園へ交流に行き、同年齢の子どもと関わる機会を設けます。	職員の質の向上	・外部研修などで学んだことを職員間で共有し、質の向上に努めます。 ・定期的にクラス会議・ケース会議を実施し、支援計画に基づいての支援を確認します。 ・専門職（OT、PT、言語、心理、音楽療法）と話し合いをもち、療育の中で実施することへの助言をもらいながらすすめます。 ・自己評価（事業所評価） ・内部研修（虐待防止、感染症対策、救急法）
主な行事等		・子どもの日集会、幼児親子遠足、七夕集会、夏祭り、プール、ハロウィン、運動会、サンタの日、豆まき、ひなまつり、卒園式 ・（毎月実施）身体測定、誕生会、避難訓練（総合避難訓練は春と秋年2回） ・各種健診（眼科、耳鼻科、内科、歯科）		